

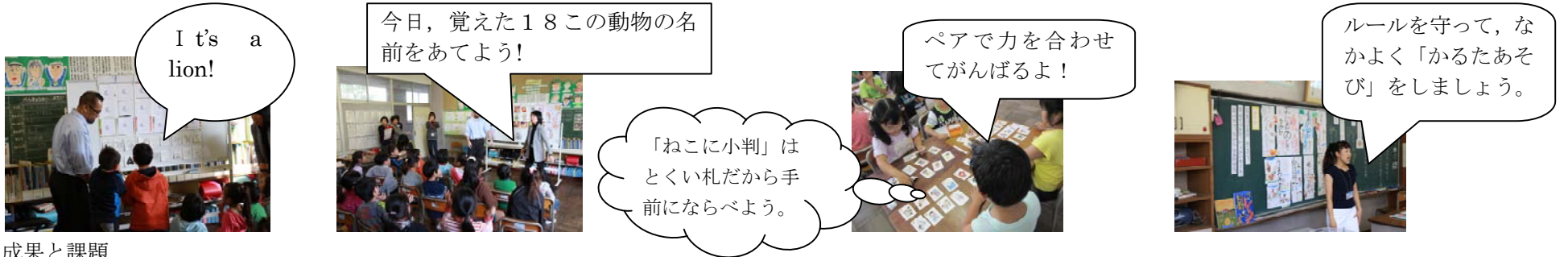
学校園共通研究テーマ コミュニケーション能力の育成

I 細谷小学校の取り組み

1 サブテーマ 自ら考え、意欲的に活動する児童の育成 ～会話科を中心として～

2 研究内容

- (1) 外国語である英語を用いて他者と積極的にコミュニケーションを図る楽しさを体験するために、動物影絵や部分を見せたり、動物あてゲームをしたりして楽しみながら活動する。どの児童もAL Tや担任と言葉を交わせるよう場の設定を工夫した。
- (2) ことわざや百人一首などの名作にふれるスタートとしてことわざかるた遊びに興味を持たせ、かるたに親しむ学習である。また、いろいろなかるたを紹介することで、日本語の美しい表現や響きに親しみ、進んで相手の話を聞いたり自分の気持ちを伝えたりする態度の育成を図る。



3 成果と課題

【英会話】

- 動物影絵や部分を見せ、動物あてゲーム等で楽しい活動をする中で、自然と英語で発語することができた。
- 一人ずつAL Tや担任とあいさつをしたり、二人組みで動物あてをしたりすることで、どの子もAL Tや担任と言葉を交わすことができた。
- ・動物あてゲームで、キャラクターが出てくるようにしたが、本時のめあてに迫るためには、ゲームの方法をもう少し工夫すればよかった。

【ことば】

- 声の準備運動を通して、教室中に声を響かせることや、友達と声を合わせることの心地よさを体感することができた。
- ICT を活用し、ことわざクイズを行い、「ことわざ」の意味や成立ちを考えさせることができた。また、グループ活動を通して、ことわざの語感やリズム、意味などから自分のお気に入りのことわざを選ぶことができた。
- ・「ことわざをあつめよう」や「ことわざ暗唱リレー」など、日常的な活動を取り入れ、今後も生活の中でことわざを使える態度を育てていきたい。

II 西が岡小学校の取り組み

1 サブテーマ 「分かる」「できる」授業づくり ～学校図書館の効果的な活用を通して～

2 研究内容

各教科等における効果的な図書館の活用について研究を進め、確かな「読みの力」や「表現する力」を育てる。その中で次の事項を重点化し、意図的に「互いの考えを交流する話し合い活動や書く活動」を取り入れていく。

(1) 多様な言語活動を取り入れた学習活動

- ・言語活動の充実を図る授業を構想するため、指導事項（付けたい力）を明確にし、言語活動の特性を踏まえた学習活動を設定する。

(2) 指導方法の工夫

- ・児童にとって興味関心のある学習材を取り上げて学習課題を設定したり、相手意識や目的意識をもたせたりして、児童が表現したいという思いを高める。
- ・友達との意見交換の場面を設定して、共通点や相違点などを明確にしながらかし合することができる支援や発問を工夫し、児童の考えを深めるようにする。

2年生

「本は友だち」

- ・教師の読み聞かせや友達の図書紹介を聞いて、いろいろなジャンルの本に興味をもち、自分が読みたい本を選ぶ。

4年生

「図書室へ行こう」

- ・本の分類と図書室の配架を知り、効率的に本を探す。



本を見せながら、自分が好きな場面とその理由が分かるように紹介しています。



紹介された本の中から、読んでみたい本や感想を書いています。



自分の選んだ本について、印象に残ったところをみんなの前で発表します。



十進分類にはどんなジャンルがあるか、ワークシートに予想していきます。



司書教諭から、十進分類の仕組みや必要な本の探し方について、具体的な説明を聞きます。



分類番号を頼りに、指定された本を探しています。

3 成果と課題

- 担任と司書教諭との連携ができ、資料準備や授業における役割分担が明確になった。
- 友達に紹介する、友達が薦める本の紹介を聞くという場の設定により、コミュニケーションの目的が明確になり、活発に意見を交流し合うことができ、それが読書意欲の高まりに結びついていった。
- クイズ作りやブックガイド作りというはっきりとした目的のもとで、児童は進んで情報交換したり図書資料を探したりしていた。
- 友達との意見交換の中で、自分の考えを深めたり、訂正したりする姿が見られ、自信や安心感につながっていた。
- ・個人差に応じた支援や、多様なグループの活用により、多くの経験を重ねていく中で、更に自信をもって意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度やコミュニケーションスキルが身についていくものと思われる。

III 宝木中学校の取り組み

1 サブテーマ 基礎・基本の確実な定着と学ぶ意欲や態度を高める生徒の育成 ～わかる授業と言語活動を充実させた授業展開の工夫～

2 研究内容

(1) 見せ合い授業の実施・ひとりひとりの授業力を向上させるために、みんなで授業を見せ合い、お互いの力や技量を高める。他の先生の、そして他の教科の授業を参観し、授業に関する技術や生徒への指導法などを吸収して、自己の資質・能力を向上を図る機会を作る。

(2) 言語活動を積極的に取り入れた授業の展開

- ・会話科の授業にロールプレイングを取り入れ、聞き方・話し方のスキルを学ぶ。
- ・各教科の授業に話し合い活動を積極的に取り入れる。

3 成果と課題

- 見せ合い授業の実施により、教師の授業力を高めるきっかけができた。
- ロールプレイングを取り入れることで相手の気持ちを考えて話を聞く姿勢が身についた。
- ・見せ合い授業は今年度、意欲を高める指導法の研究を基本にしたが、次年度はコミュニケーション能力の育成に重点を置く研究にしたい。

1年生道徳「伝説の消防士たち」

